



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日

上場会社名 河西工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7256 URL <http://www.kasai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長役員 (氏名) 渡邊 邦幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務役員 (氏名) 半谷 勝二 (TEL) 0467-75-1125  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期 第1四半期	34,556	△32.5	△3,922	—	△3,945	—	△4,281	—
2020年3月期 第1四半期	51,217	△5.9	1,898	△41.7	2,377	△32.2	1,086	△43.4

(注) 包括利益 2021年3月期 第1四半期△5,798百万円(—%) 2020年3月期 第1四半期 2,021百万円(659.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期 第1四半期	△110.66	—
2020年3月期 第1四半期	28.08	28.08

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期 第1四半期	149,107	57,834	33.6
2020年3月期	150,692	64,993	37.2

(参考) 自己資本 2021年3月期 第1四半期 50,078百万円 2020年3月期 55,988百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.00	—	9.00	27.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,000	△26.2	△10,800	—	△10,500	—	△11,800	—	△304.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	39,511,728株	2020年3月期	39,511,728株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	818,483株	2020年3月期	818,483株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	38,693,245株	2020年3月期1Q	38,685,438株

(注)「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)」が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。(2021年3月期1Q155,429株、2020年3月期155,429株)

また、「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2021年3月期1Q155,429株、2020年3月期1Q155,429株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

世界経済は、米国では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から営業活動の制限や外出規制などが行われ、個人消費の大幅な減少などによる影響が拡大しており、先行きの不透明感が非常に高まっております。中国では、2月中旬以降から新型コロナウイルス感染症による影響で停止されていた経済活動が再開を始めておりますが、依然として回復のスピードは鈍く、自動車の販売においても3月頃から徐々に回復の兆しを見せ始めたところがあります。欧州においては3月以降に新型コロナウイルス感染症の感染が爆発的に拡大し、いわゆるロックダウンが各地で起こり、経済活動は停止しております。アジアにおいても、対中輸出の減少や中国人旅行者の減少などの影響から経済活動が縮小し、3月中旬以降には新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、経済活動が大幅に制限されております。

我が国経済においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、緊急事態宣言の全国的な実施により経済活動が大きく制限され、テレワークの実施、休業の増加、ソーシャルディスタンスの確保、新しい生活様式への対応といったこれまでにない働き方を強いられる状況となっております。また当初の緊急事態宣言期間が延長された影響により、予想を遥かに超えた経済活動への影響が顕在化してきております。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場における新車販売は2月の販売が前年同月比で増加したものの、その後は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少しました。中国市場では年初より新型コロナウイルス感染症の影響を受け急激な販売減少となりました。欧州市場の自動車販売は、新排ガス規制が導入されたことに加えて新型コロナウイルス感染症の影響を受け販売が減少しております。日本市場では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、登録車、軽自動車ともに前年同期と比べ販売台数は大きく落ち込んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の稼働停止及び生産調整による減産影響を受け、345億56百万円と前年同四半期に比べ166億60百万円(△32.5%)の減収、営業損失は、39億22百万円(前年同四半期は18億98百万円の営業利益)、経常損失は39億45百万円(前年同四半期は23億77百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は42億81百万円(前年同四半期は10億86百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

新型コロナウイルス感染症の影響による得意先の稼働停止及び生産調整による減産を受け、売上高は77億67百万円と前年同四半期に比べ74億12百万円(△48.8%)の減収となり、セグメント損失は21億30百万円(前年同四半期はセグメント損失2億62百万円)となりました。

(北米)

新型コロナウイルス感染症の影響による3月度の得意先の稼働停止により、売上高は163億55百万円と前年同四半期に比べ69億97百万円(△30.0%)の減収となり、セグメント損失は、9億97百万円(前年同四半期はセグメント利益6億43百万円)となりました。

(欧州)

新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、ドイツ新規拠点の設立(2019年4月設立)及びスロバキアにおける新車立上げにより、売上高は52億34百万円と前年同四半期に比べ19億59百万円(+59.8%)の増収となりましたが、立上準備費用の増加等により、セグメント損失は10億24百万円(前年同四半期はセグメント損失1億31百万円)となりました。

(アジア)

主に中国において新型コロナウイルス感染症の感染拡大による得意先の生産台数の減少により、売上高は51億98百万円と前年同四半期に比べ42億9百万円(△44.7%)の減収となり、セグメント利益は4億50百万円と前年同四半期に比べ11億49百万円(△71.9%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

総資産は1,491億7百万円と前連結会計年度末に比べ、15億84百万円の減少(△1.1%)となりました。この主な要因は、現金及び預金が41億26百万円増加、仕掛品が9億65百万円増加、受取手形及び売掛金が51億22百万円減少、その他流動資産が16億3百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

負債は912億72百万円と前連結会計年度末に比べ、55億73百万円の増加(+6.5%)となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が62億32百万円減少、長期借入金が109億12百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は578億34百万円と前連結会計年度末に比べ、71億58百万円の減少(△11.0%)となりました。この主な要因は、利益剰余金が46億31百万円減少、為替換算調整勘定が14億2百万円減少、非支配株主持分が12億48百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、業績の先行きが見通せないことから、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定をし、公表することといたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## (通期連結業績予想)

売上高	151,000百万円
営業利益	△10,800百万円
経常利益	△10,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△11,800百万円

※上記の業績予想につきましては、当社が現時点までに入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,699	26,826
受取手形及び売掛金	25,337	20,214
製品	1,126	1,437
仕掛品	12,882	13,847
原材料及び貯蔵品	5,767	5,595
その他	7,280	5,676
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	75,094	73,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,056	47,107
減価償却累計額	△23,705	△23,836
減損損失累計額	△570	△568
建物及び構築物（純額）	22,780	22,701
機械装置及び運搬具	77,154	77,068
減価償却累計額	△54,655	△54,673
減損損失累計額	△1,984	△1,953
機械装置及び運搬具（純額）	20,515	20,441
工具、器具及び備品	31,651	32,577
減価償却累計額	△25,922	△26,635
減損損失累計額	△71	△69
工具、器具及び備品（純額）	5,657	5,872
土地	7,489	7,637
建設仮勘定	8,366	8,359
有形固定資産合計	64,809	65,013
無形固定資産		
のれん	735	644
その他	727	667
無形固定資産合計	1,462	1,312
投資その他の資産		
投資有価証券	6,198	6,183
その他	3,132	3,004
貸倒引当金	△5	△3
投資その他の資産合計	9,325	9,183
固定資産合計	75,597	75,509
資産合計	150,692	149,107

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,382	16,150
短期借入金	26,278	23,306
未払法人税等	730	438
賞与引当金	1,139	549
その他	10,836	15,727
流動負債合計	61,367	56,171
固定負債		
長期借入金	19,240	30,152
退職給付に係る負債	1,026	799
その他	4,064	4,149
固定負債合計	24,331	35,101
負債合計	85,699	91,272
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,876	5,876
利益剰余金	48,596	43,965
自己株式	△535	△535
株主資本合計	59,758	55,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,057	1,127
為替換算調整勘定	△4,062	△5,465
退職給付に係る調整累計額	△766	△711
その他の包括利益累計額合計	△3,770	△5,048
非支配株主持分	9,004	7,755
純資産合計	64,993	57,834
負債純資産合計	150,692	149,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	51,217	34,556
売上原価	44,522	34,237
売上総利益	6,694	319
販売費及び一般管理費	4,795	4,241
営業利益又は営業損失(△)	1,898	△3,922
営業外収益		
受取利息	121	42
受取配当金	96	54
持分法による投資利益	43	—
為替差益	31	—
補助金収入	276	466
その他	46	47
営業外収益合計	616	611
営業外費用		
支払利息	134	160
持分法による投資損失	—	73
為替差損	—	387
その他	2	13
営業外費用合計	136	635
経常利益又は経常損失(△)	2,377	△3,945
特別利益		
固定資産売却益	0	13
ゴルフ会員権売却益	—	7
特別利益合計	0	20
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,374	△3,925
法人税、住民税及び事業税	1,036	384
法人税等調整額	△267	△154
法人税等合計	768	229
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,605	△4,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	518	126
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,086	△4,281

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,605	△4,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△267	69
為替換算調整勘定	665	△1,739
退職給付に係る調整額	△4	54
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△27
その他の包括利益合計	415	△1,642
四半期包括利益	2,021	△5,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,332	△5,560
非支配株主に係る四半期包括利益	688	△238

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,180	23,353	3,275	9,408	51,217	—	51,217
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,112	0	39	218	1,370	△1,370	—
計	16,293	23,353	3,314	9,626	52,587	△1,370	51,217
セグメント利益 又は損失(△)	△262	643	△131	1,599	1,849	49	1,898

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額49百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,767	16,355	5,234	5,198	34,556	—	34,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,105	24	34	107	2,272	△2,272	—
計	9,873	16,380	5,269	5,306	36,828	△2,272	34,556
セグメント利益 又は損失(△)	△2,130	△997	△1,024	450	△3,702	△219	△3,922

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△219百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報) (新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。